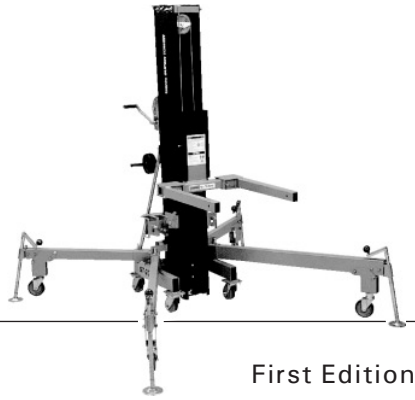
Genie®



操作説明書

First Edition
Sixth Printing
Part No. 32950JA

Super Tower™

重 要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目 次

ページ
安全規則 1
説明 6
操作前の点検 7
機能テスト 9
作業場の点検 12
操作手順 13
積載荷重量表 15
輸送手順 17
ステッカー 18
仕様 20

お問合せ先 :

インターネット : http://www.genielift.com
電子メール : techpub@genieind.com

Copyright © 1994 Genie Industries

初版 : 第 6 刷 2004 年 1 月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。「Super Tower」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



警告

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規約ついてよく理解してください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則—安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

落下の危険

人員運搬用作業台または踏み台として使用しないでください。

フォークの上に立たないでください。

マストに登らないでください。

転倒の危険

Genie Super Towerは、4つのアウトリガーすべてがベース収納口に適切に取り付けられ、ネジジャッキパッドがしっかりと地面に接触し、ベースが水平な状態でない限り、操作しないでください。

各アウトリガーにアウトリガーロックピンが適切に挿入されていない限り、機械を操作しないでください。

機械が水平な状態にある場合以外は積荷を上げないでください。ジャッキのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械をセットアップしないでください。

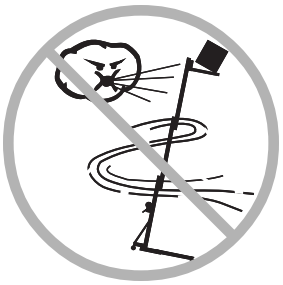
位置の微調整を行う場合以外、積荷を上げた状態で機械を移動しないでください。

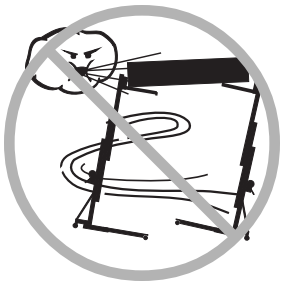


アウトリガーのキャスターが地面に接触した状態で積荷を上げたままにしないでください。

積荷を上げた状態で、アウトリガーを調節したり取り外したりしないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。強風の状態では、積荷の表面積が増加すると、機械の安定性が低下します。





強風の状態では、機械が支え線でしっかりと留めてある場合を除き、積載を上げたままの状態にしないでください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。





機械どの部分にもはしごや足場を組まないでください。

最大定格積載荷重量を超えないでください。積載荷重量表のセクションを参照してください。

積載中心点（均衡点）が荷台と積荷用アタッチメントの端の間の適切な位置にある場合以外、積荷を上げないでください。積載荷重量表のセクションを参照してください。

操作を始める前に、作業現場に急に低くなっている場所、くぼみやもりあがった箇所、障害物、不安定な地面、滑りやすい表面、またその他の危険な状態がないことを確認してください。

脚を折りたたんだ状態で機械を移動する場合、障害物のある場所や平らでない場所を避けてください。

機械の安定性や構造に大きくかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている荷やぶら下っている状態の荷を上下しないでください。

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。



機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。通電している電線の電気が止められるまで、作業員は絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

適用する法規および次の表に従って、電線および電気機器から安全な距離を保ってください。

電圧	安全を確保するための最低距離
範囲	メートル
0～300V	接触を避ける
300V～50KV	3.1
50KV～200KV	4.6
200KV～350KV	6.1
350KV～500KV	7.6
500KV～750KV	10.7
750KV～1000KV	13.7

マストの動きや電線の揺れやたるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

落下の危険

ブレーキがロックされるまで、ウィンチハンドルを解除しないでください。積荷によってウィンチハンドルが回らなくなると、ブレーキがロックされます。

積載中心点（均衡点）が荷台と調節可能フォークの端の間の適切な位置にある場合以外、積荷を上げないでください。



積荷を上げるとき、機械の下に立たないでください。また、作業員がいないことを確認してください。

積荷の下に立たないでください。支柱をロックする前に、安全ブレーキによって積荷が 30～91 cm 下がります。

積荷がフォークに適切に固定されていない場合は、上げないでください。

積荷の下に人がいないこと、また障害物がないことを確かめてから、積荷を下げてください。



はさまれる可能性のある場所に手や指を近づけないでください。

スナップピンがフォークに適切に固定されていることを確認してから、積荷を上げてください。

安全規則

衝突の危険

周りに人がいたり障害物がある場合は、機械を後方に傾けないでください。

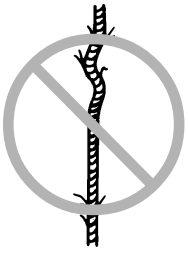


作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことをチェックしてください。

傾斜地で機械を移動する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

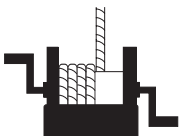
機械と輸送車両が平坦な地面にある場合以外、機械を車両に載せないでください。機械を積む場合は、適切な手段で行ってください。

機械の故障の危険



損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

ケーブルに磨耗、ほぐれ、よじれ、あるいは損傷がある場合は、機械を使用しないでください。



収納した状態でウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以下しか残っていない場合、機械を使用しないでください。

毎回機械を使用する前に、操作前の点検を完全に行ってください。

操作説明書が完備され、文字が読める状態で、機械の保管場所に保管されていることを確認してください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

ウィンチには潤滑油を差して常に適切な状態に保ってください。詳細については、*Genie Super Tower 部品およびサービスマニュアル* を参照してください。ブレーキ表面にオイルや油脂がつかないように注意してください。

支柱の表面にはどのような種類の潤滑剤も使用しないでください。

人体への傷害の危険

ケーブルを握らないでください。

リフトの危険

機械に積載する際および機械を傾ける場合は、適切な手段で行ってください。

誤った使用による危険

積載した Genie Super Tower から離れるときは、関係者以外によって使用されないようにしてください。権限のない人が適切な指示なしに機械を操作すると、危険な状態を招く恐れがあります。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボル—作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

⚠ 危険

⚠

赤—差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠ 警告

⚠

オレンジ—危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠ 要注意

⚠

安全上の警告シンボルを伴った黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

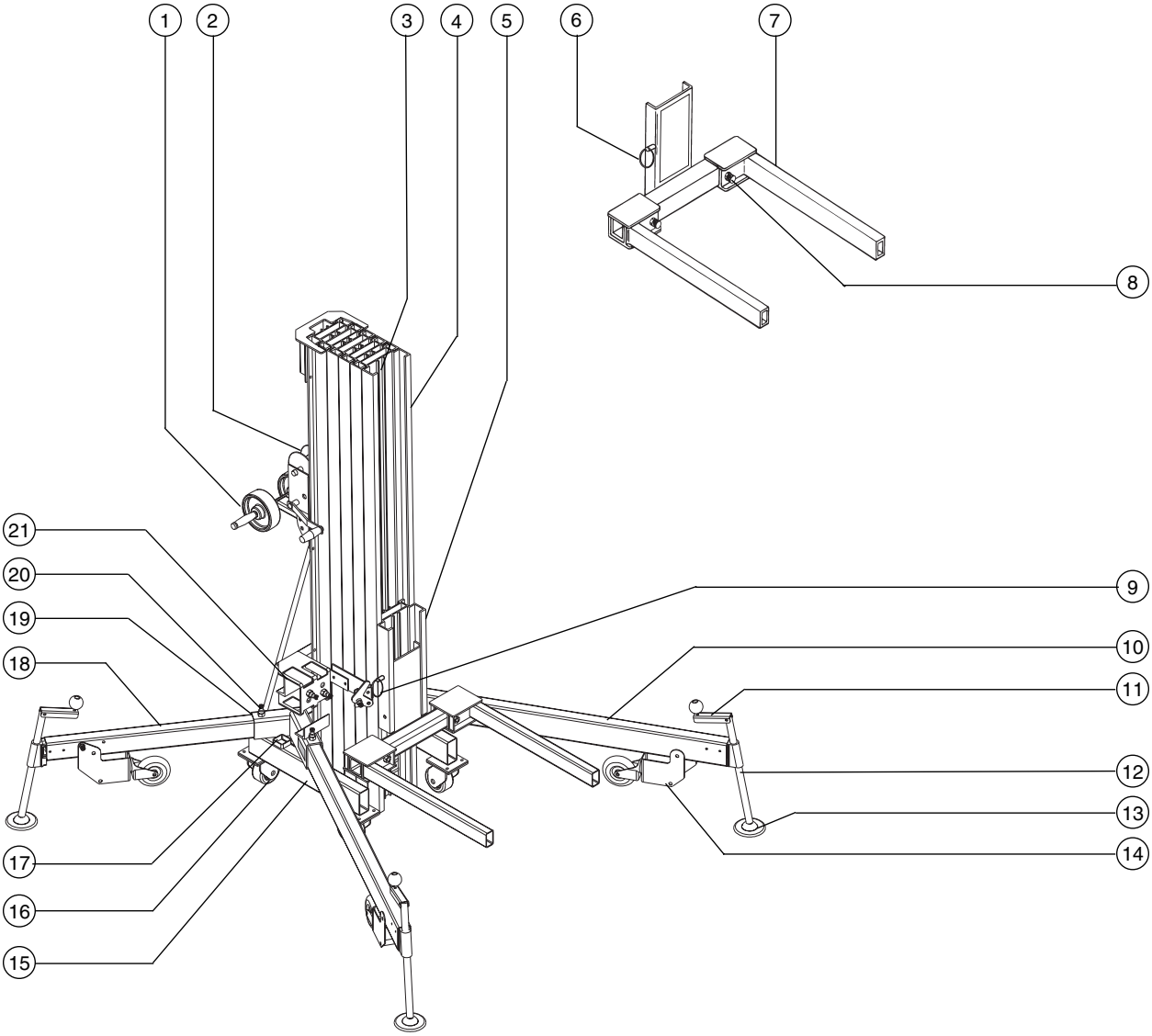
要注意

安全上の警告シンボルがない黄色—危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意

緑—操作情報またはメンテナンス情報を示します。

説 明



1 積載ホイール/ステアリング ハンドル
2 ウィンチ
3 ケーブル
4 マスト
5 荷台
6 積荷用アタッチメント固定ピン
7 調節可能フォーク
8 スナップピン
9 荷台固定ラッチ
10 前方アウトリガー（長）
11 アウトリガー・ネジジャッキハンドル
12 アウトリガー・ネジジャッキ
13 アウトリガー・ネジジャッキパッド
14 アウトリガーキャスター
15 ベース
16 ベースキャスター
17 水準器
18 後方アウトリガー（短）
19 ローディング・ガイド ブロック
20 アウトリガーロックピン
21 アウトリガー収納口

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原 則

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

もし損傷もしくは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❏ 操作説明書が完備され、文字が読める状態で、機械の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ ウィンチと関連部品
- ❏ ベース部品
- ❏ アウトリガー、アウトリガー・ネジジャッキ、アウトリガー・フットパッドとアウトリガーキャスター
- ❏ マスト柱
- ❏ 安全ブレーキ用外部プラスチックシム
- ❏ ケーブル錨
- ❏ ケーブルと滑車
- ❏ 荷台固定ラッチ
- ❏ ホイールとキャスター
- ❏ 調節可能フォーク
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ ケーブル（ねじれ、ほぐれ、磨耗）

機械全体を通して下記をチェックしてください：

- ❏ へこみや損傷
- ❏ 腐食や酸化
- ❏ 溶接や機械部品の割れ

- ❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- ❏ 荷台が完全に下がっているとき、ウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以上残っていること。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原 則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

シンボルの説明

⊙ 一連の操作の後、予測される特定の結果を示します。

機能テスト

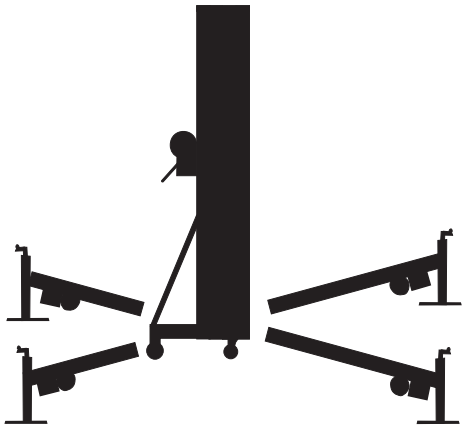
機能テスト

1 任意の作業場に機械を置きます。

セットアップ

1 アウトリガーをアウトリガー収納口から外します。

2 アウトリガーをそれぞれベース近くの取り付け位置にセットします。2本の長い方のアウトリガーを、前方のベース収納口に取り付けます。2本の短い方のアウトリガーを、後方のベース収納口に取り付けます。



3 アウトリガーの 1本を選択します。アウトリガーロックピンがアウトリガーの正しい位置でスナップするまで、アウトリガーをベース収納口にスライドさせます。他のアウトリガーについても同じ手順を繰返します。

4 ベースキャスターが地上から少し離れるように、アウトリガー・ネジジャッキを調節します。

5 ベースの水準器を見ながら、アウトリガー・ネジジャッキで機械を水平にします。アウトリガー以外を使用して機械を水平にしないでください。

積荷用アタッチメント

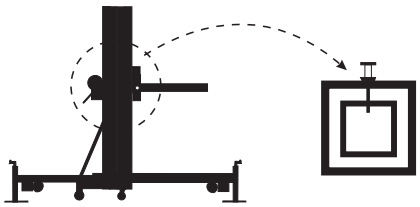
調節可能フォーク

1 フォークを荷台の内側に配置します。

2 固定ピンを挿入します。



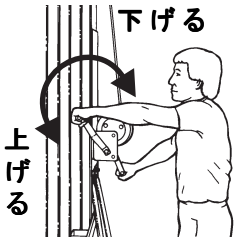
3 フォークを任意の幅に調節し、各フォークへスナップピンが正しく挿入されていることを確認します。



一定速度でのウィンチ操作のテスト

1 調節可能フォークを取り付けます。

2 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストの方向へ回転させ、荷台を上げます。



⊙ 結果：ウィンチは動きがぎこちなかったり止まったりすることなく、スムーズに操作できなければなりません。

3 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストと逆の方向に回転させ、荷台を下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルをマスト（積荷の上昇）の方向へ 1/4 回します。

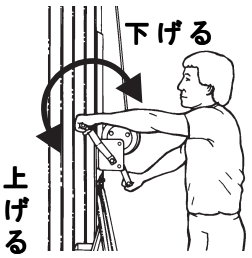
⊙ 結果：ウィンチは動きがぎこちなかったり止まったりすることなく、スムーズに操作できなければなりません。

低速/高速でのウィンチ操作のテスト

1 調節可能フォークを取り付けます。

2 ウィンチを低速にシフトします。

3 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストの方向へ回転させ、荷台を上げます。



⊙ 結果：ウィンチは動きがぎこちなかったり止まったりすることなく、スムーズに操作できなければなりません。

4 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストと逆の方向に回転させ、荷台を下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルをマスト（積荷の上昇）の方向へ 1/4 回します。

⊙ 結果：ウィンチは動きがぎこちなかったり止まったりすることなく、スムーズに操作できなければなりません。

5 ウィンチを高速にシフトし、ステップ 3 と 4 を繰り返します。

マストシークエンスのテスト

1 調節可能フォークを取り付けます。

2 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストの方向へ回転させ、荷台を完全に上げます。

⊙ 結果：荷台が前方のマストセクションの一番上まで上がり、各マストセクションに順に続きます。

3 荷台を完全に下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルをマスト（積荷の上昇）の方向へ 1/4 回します。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 機械を水平に調整できる範囲を超える坂
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人物の存在
- その他に起こる可能性のある危険な状態

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

操作手順

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原 則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を各性質ごとに説明しています。安全規則や操作説明書の指示に従うことはオペレータの任務です。

機材を持ち上げること以外に機械を使用することは危険です。

2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則や操作説明書の指示に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

セットアップ

任意の作業場に機械を置きます。

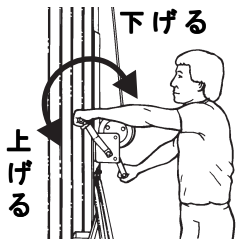
機能テストセクションのセットアップ手順に従ってください。

積荷の上げ下ろし

1 積荷を積荷作業台の中心に置きます。積載荷重量表のセクションを参照してください。

2 積荷がフォークへ固定されていることを確認してください。

3 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストの方向へ回転させ、積荷を上げます。ケーブルがドラム上に不均等に巻かれないようにしてください。



4 ウィンチハンドルをしっかりと握ってマストの反対の方向へ回転させ、積荷を下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルをマスト（積荷の上昇）の方向へ 1/4 回します。

操作手順

積載した機械の移動

作業場で機械を移動する場合、積載していない状態が最も理想的です。上がっている積荷の移動は、ポジショニングの時のみに制限するべきです。積荷が上がっている状態で機械を動かす必要がある場合、以下の安全規則を心得え、従ってください。

- 現場が平坦で、障害物がないことを確認してください。
- 積荷が積荷用アタッチメントの中心に配置されていることを確認してください。
- 積荷が積荷用アタッチメントへ固定されていることを確認してください。
- 急な発進または停止は避けてください。
- 積荷をできるだけ低い位置にして移動させてください。
- 機械や積荷に人が近づかないようにしてください。

積載した機械を移動するのに機械をセットアップする

1 積荷をできるだけ低い位置にします。

2 アウトリガーの端をアウトリガー・ネジジャッキで上げます。

3 スナップピンを引き、キャスターを下の位置に回します。ピンが正確に挿入されていることを確認してください。

4 キャスターが地面につくまでアウトリガーを下げます。

5 他のアウトリガーについても同じ手順を繰返します。

6 積荷の配置が済んだら、キャスターを収納位置に戻します。ベースの水準器を見ながら、アウトリガー・ネジジャッキで機械を水平にします。

使用後の注意

Genie Super Tower の保管は、セットアップ手順を逆の順序で行ってください。

固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

積載荷重量表



必ず従うこと：

☑ 積荷を適切な位置に置かなかった場合、重傷を負ったり死に至る可能性があります。

☑ 上げようとしている積荷が、積載中心点の最大積載量を超えていないか確認してください。次のページの積載荷重量表を参照してください。

⚠ 警 告 転倒の危険。機械の最大荷重量を超えた積荷を上げると、重傷を負ったり死に至る場合があります。

☑ 積載中心点は積荷の均衡点（重力の中心）として定義され、積荷中心地帯内になければなりません。

⚠ 警 告 転倒の危険。積荷が適切に積荷中心地帯に配置されていないと、重傷を負ったり死に至る場合があります。

フォーク

積荷配置手順

1 積荷の重量と積載中心点の場所を決定します。

2 荷台に最も近い積荷から積載中心点を計測します。

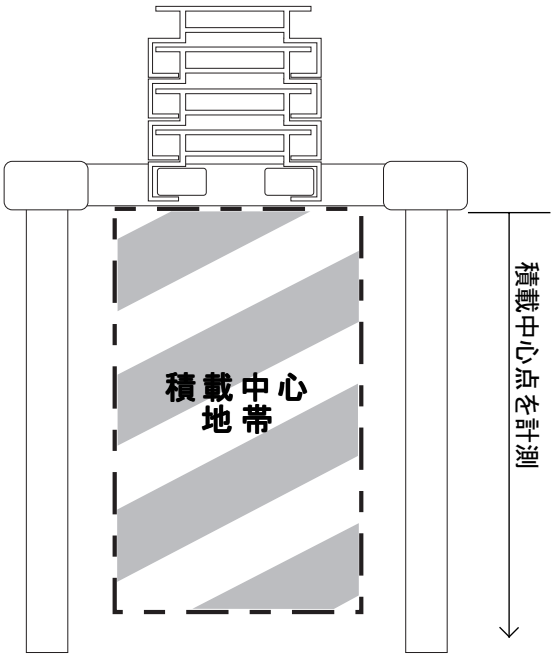
3 次ページの表を参照し、現在のフォークの位置において、機械が積載重量を持ち上げることができるかどうかを判断します。

4 できるだけ荷台に近くなるように、フォークに積荷を配置します。

5 積載中心点が積載中心地帯内になるように、積荷を置きます。

6 積荷をフォークに固定します。

積載荷重量表



最大積載中心点

（荷台の前方より計測）

調節可能フォーク： 61 cm

積載荷重量					
積載中心点					
cm		46	51	56	61
モデル					
ST-20	kg	363	332	303	272
ST-25	kg	295	264	235	204

調節可能なフォークの最大積載中心点については、
積載荷重量表を参照してください。

輸送手順

輸送手順

必ず従うこと：

☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載位置、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量はシリアルプレートをご覧ください。

☑ 機械の重量に十分に耐えることができるチェーンまたはストラップを使用して、輸送車に機械を固定してください。

機械の積載

1 荷台を完全に下げます。

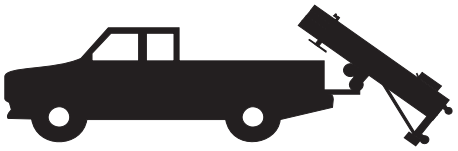
2 荷台固定ラッチを荷台上にロックします。

3 荷台固定ラッチに触るまで荷台を上げます。

4 ベースからアウトリガーを外し、アウトリガー収納口に収めます。スナップピンが適切に挿入されていることを確認してください。

5 積載ホイールを任意の高さに調節します。ピンが正確に挿入されていることを確認してください。

6 機械を運搬車に立てかけます。適切な手段をもって、運搬車へ機械を積載します。荷台が下方位置にロックされていることを確認してください。



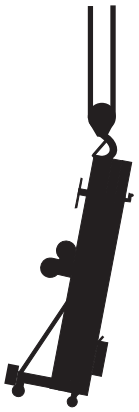
クレーンによる機械の積載

アウトリガーがアウトリガー収納口にあることを確認します。スナップピンが適切に挿入されていることを確認してください。

機械に緩んでいたり固定されていない箇所がないか点検します。

後方マスト柱の上に取り付けられたリフトブラケットを使用します。

吊り用フックは、常に機械と逆に向くようにリフトブラケットに通してください。



ステッカー

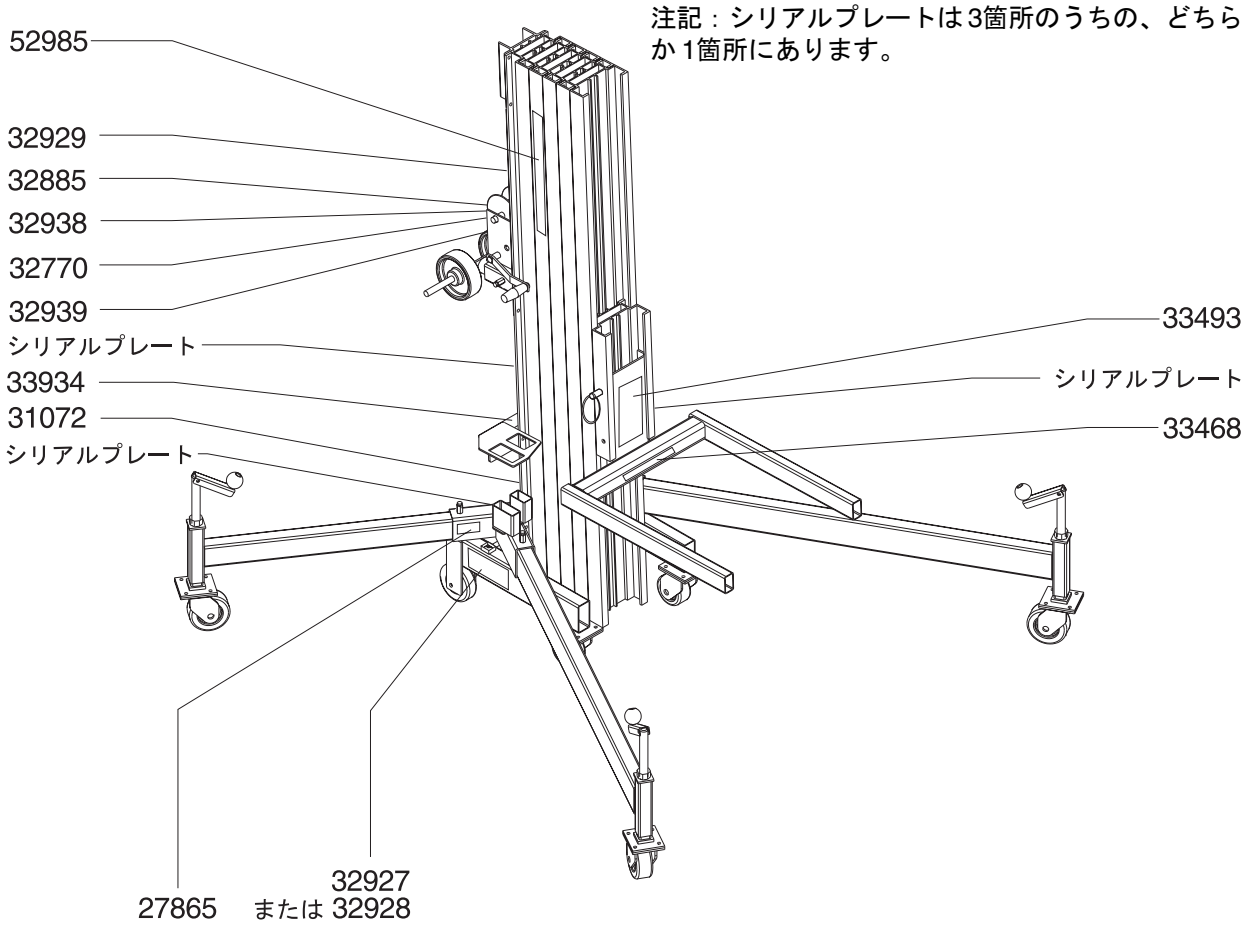
警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
27865JA	ラベル - 水準器	1
31072JA	ラベル - 操作説明書の保管場所	1
32770JA	注意 - 2段式スピードシフトの操作指示	1
32885JA	警告 - 消音ウィンチ	1
32927	外装 - ST-20	2
32928	外装 - ST-25	2
32929JA	警告 - 機械の安全規則/セットアップ	1

品番	名称	数量
32938JA	ラベル - このウィンチを使用	1
32939JA	警告 - ブレーキロック	1
33468JA	警告 - 乗車禁止	1
33493JA	警告 - 調節可能フォークの安全規則/セットアップ	1
33934JA	ラベル - アウトリガー保管ソケット	1
52985	外装 - Genie Super Tower	2

注記：シリアルプレートは3箇所のうちの、どちらか1箇所にあります。



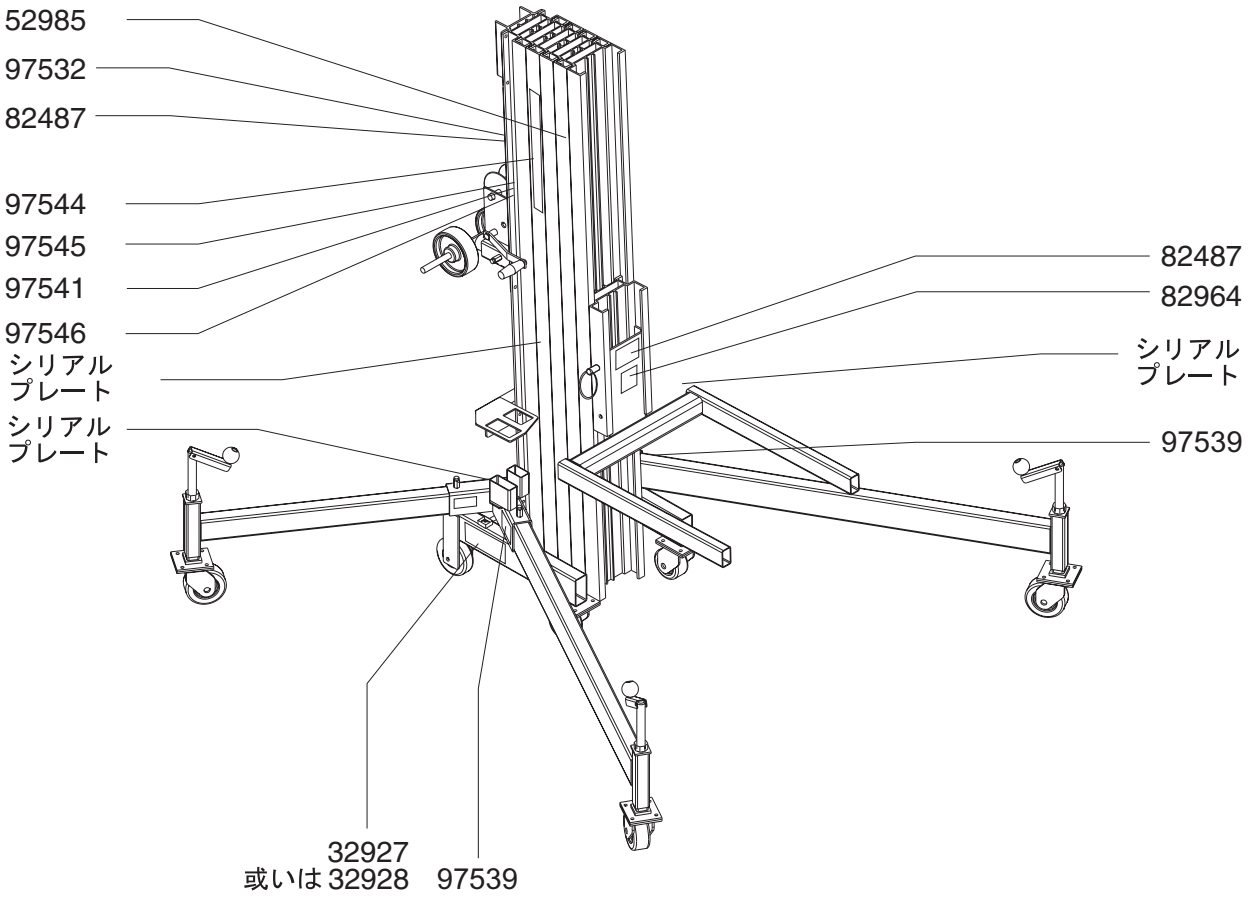
シンボルのついたステッカーの点 検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品 番	名 称	数 量
32927	外装 - ST-20	2
32928	外装 - ST-25	2
52985	外装 - Genie Super Tower	2
82487	ラベル - マニュアルを読む	2
82964	警告 - 乗車禁止	1
97532	要注意 - 人体への傷害の危険	1

品 番	名 称	数 量
97539	危険 - 感電の危険	2
97541	ラベル - このウィンチを使用すること	1
97544	警告 - 積載中心点表	1
97545	警告 - ブレーキロック	1
97546	ラベル - 高速/低速シフト操作手順	1

注記：シリアルプレートは3箇所のうちの、どちらか1箇所にあります。



仕様

モデル	ST-20	ST-25
高さ - 収納時	2 m	2 m
幅 - 収納時	56 cm	56 cm
奥行き - 収納時	64 cm	64 cm
地上最低高さ	5.1 cm	5.1 cm
アウトリガー接地面積	1.9 x 2 m	1.9 x 2 m
積載荷重量 46 cm 積載中心点 注記:他の積載中心点における積載荷重につていは、積載荷重量表のセクションを参照してください。	363 kg	295 kg
正味重量	203 kg	223 kg

積荷用アタッチメント 長さ x 幅 x 奥行き	正味重量
調節可能フォーク 70 x 29 cm ～ 76 x 6.5 cm	23.8 kg

寸法	ST-20	ST-25
調節可能フォーク		
フォーク下降	5.9 m	7.4 m
フォーク上昇時	6.5 m	7.9 m
機械による騒音 **機械による** 標準的な作業場での 最大音量 （騒音レベル）	85 dB	85 dB

代理店：

Genie North America
Tel 425.881.1800
フリー 米国およびカナダ
ダイアル 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel +31 10 220 7911
Fax +31 10 220 6642

Genie Scandinavia
Tel +46 31 3409612
Fax +46 31 3409613

Genie France
Tel +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241